

第26期 第8回法学委員会会議要旨

日時： 令和7年3月28日（金）19:30～21:15

会場： オンライン会議システムによる開催

出席者：大久保規子、小畑郁（幹事）、川嶋四郎（委員長）、島岡まな（副委員長）、島村健、只野雅人、丸谷浩介、三成賢次、南野佳代、山田八千子（幹事）

欠席者：大塚直、越智敏博

（以上、敬称略・五十音順）

議 題

1. 令和7年3月28日説明会を受けた法案の検討について

令和7年3月28日の説明会を受け、説明会の内容や進め方、法案および政府の見解に対する今後のとるべき対応について、意見交換をおこなった。その結果、本日の説明会で紹介された政府の見解は、日本学術会議が法人化に際して堅持を求めてきたナショナル・アカデミーの5要件のすべてを充足するものではなく、かつ会長声明で指摘した5つの懸念を払拭するものでないとの結論に至った。したがって、法学委員会が提出した「日本学術会議法案に対する評価」（令和7年3月17日法学委員会議事要旨参照）の内容の妥当性を再確認した。

また、日本学術会議外において法案をめぐり提出されている団体等の声明等を一覧性のある形で会員全体に共有することとした

（例、<https://univforum.sakura.ne.jp/wordpress/materials/scjincorporationmaterials/>参照）。

2. その他

法案に関連して、次回総会における議案の提出についての意見交換をおこなった。

<別添資料> なし